

ユニセフシアター



岩手県ユニセフ協会

## 心に響き…人間愛にあふれた「ブランカとギター弾き」

2019年8月3日（土）、岩手教育会館多目的ホールで、盛岡市中心に奥州市・平泉町から240名の方々が鑑賞しました。長谷井宏紀監督による「ブランカとギター弾き」は、ヴェネツィア国際映画祭など数多くのグランプリを獲得した映画。今はお金さえあれば何でも手に入る時代に、「母親を買うことができる？」この映画のコンセプトはそんな疑問から生まれました。

岩手県ユニセフ協会内澤祥子専務理事、JICA岩手デスク菊池真美子さんの挨拶のあと、フィリピンのスラム街を舞台に少女と盲目のギター弾きは、私たちに心温まる感動を残しました。

○参加者から以下のような感想が寄せられました。

- ・「世界の子どもたちの現状を知る機会となった。私たちはまだまだ知らない世界がある。ユニセフの映画を通じて知り、周りに知らせ、自分たちにできることを考えていきたい。映画自体もよかった。ブランカがとても可愛かったし、歌声もすばらしくもっと聴いてみたかった。（男性 40代）」
- ・「親のいない子どもや、目の見えない人など立場の弱い人が生きていくのはとても大変で支援していくことが大切だと思いました。日本でも貧困が増えていて、毎日の食べ物にも困っている子どもたちが沢山いるので、自分もできる範囲で何かしたいと思います。（30代 女性）」
- ・「ありがとうございました。自国主義が横行する昨今、子どもの生きる権利を世界が一つになって守らなければと思います。（70代 女性）」
- ・「映画のような現実はあるのかと疑ってしまう程でした。小さな子どもが生きるためにそんなに悩みながら行動している日々、信じられませんでした。」「世界中には、このような子がたくさんいるのでしょうね。ユニセフに少しでも協力してお手伝いできると良いと思います。」

ロビーでは、パンフレットも好評、ご協力いただいた**ユニセフ募金は2万5,245円**でした。

花巻友の会は7月27日に上映。80の方々に鑑賞いただき、**ユニセフ募金は1万964円**でした。

この映画は、岩手県教育委員会・盛岡市教育委員会・滝沢市教育委員会に後援いただきました。

また、公益財団法人岩手県国際交流協会から、国際交流・協力・多文化共生活動支援助成金を受けています。



映画の一場面



参加者たちの様子(盛岡会場)



募金される参加者